

## 糖尿病・内分泌内科，老年内科

【当科でローテーションしたら-これが売り！！】

(2 か月の例)

何科に進んでも関わりのある糖尿病患者の診療を外来，入院，各科からの依頼患者を通じて経験することができます。このことにより，糖尿病患者の外来診療の方法，入院加療の方法，また，様々な疾患で治療下にある糖尿病患者の基本的な血糖管理方法を修得することが可能になります。

また，当科では将来外科系を希望する研修医と内科系を希望する研修医に対して，それぞれより将来的に有益と考えられるカリキュラムを組んでおります。大学病院ならではの質の高い知識を多くの専門医から得ることで，効率よく，かつ深いレベルで研修することが可能となります。

○外来糖尿病症例を中心に主に経口血糖降下薬の使い方を修得します 30 例程度

○入院糖尿病症例を中心に主にインスリンの使用法を修得します 20 例程度

○他科入院糖尿病症例を中心に，周術期や周産期，ステロイド使用下など様々な治療下，疾患下における血糖管理の方法を修得します 30 例程度

その他，甲状腺機能異常（15 例程度），原発性アルドステロン症（5 例程度），電解質異常（20 例程度）など，将来的に意外と診る機会が多い疾患に関してその診断法，治療法を修得することが可能となります。

### 【研修目標と評価】

#### 一般目標

日常診療で頻繁に遭遇する内分泌・代謝疾患に適切に対応ができるように，入院患者の受け持ちと外来診療によって基本的な臨床能力（態度，技能，知識）を身につける。

#### 内分泌疾患

##### 行動目標

1. 身体所見，検査所見の異常から内分泌疾患を発見できる。
2. 甲状腺疾患の早期発見と管理ができる。
3. 内分泌性高血圧の診断と治療ができる。
4. 電解質異常の鑑別診断と治療ができる。
5. 下垂体・副腎の画像診断ができる。
6. 甲状腺クリーゼ，副腎クリーゼに対処できる。
7. 内分泌専門医に適切に紹介できる。

## チェックリスト《5段階評価》

### 知識：

1. 甲状腺機能亢進症をきたす疾患の鑑別ができる。
2. 甲状腺機能低下症をきたす疾患を鑑別できる。
3. 高血圧をきたす疾患を鑑別できる。
4. 低血圧をきたす疾患を鑑別できる。
5. ナトリウム、カリウム、カルシウム異常をきたす疾患を鑑別できる。
6. 肥満をきたす疾患を鑑別できる。
7. 男性化をきたす疾患を鑑別できる。

### 技能：

1. 内分泌疾患鑑別のための種々のホルモン検査の選択と解釈ができる。
2. 甲状腺エコーができる。
3. 甲状腺細胞診ができる。
4. インターネットを使用し文献検索ができる。
5. 症例提示と討論ができる。

### 詳しい検査をオーダーする能力：

1. 骨密度検査
2. トルコ鞍画像検査(CT, MR)
3. 血漿浸透圧, 尿浸透圧
4. Ca 代謝の検査
5. 性腺機能検査
6. 甲状腺機能検査
7. 甲状腺エコー
8. 副腎 CT 検査
9. 甲状腺シンチグラフィ, 副腎皮質・副腎髄質シンチグラフィ
10. 血中, 尿中ナトリウム測定
11. 尿中メタネフリン, ノルメタネフリン, カテコールアミン
12. レニン, アンジオテンシン, アルドステロン系検査
13. ACTH-cortisol 系の検査

## 代謝疾患

### 行動目標

1. 身体所見, 検査所見から糖尿病, 脂質異常症を発見できる。
2. 糖尿病の食事療法・運動療法を指導できる。
3. 糖尿病の薬物療法を適切に選択ができる。
4. 糖尿病性ケトアシドーシスの治療ができる。
5. 脂質異常症の治療ができる。

6. 脂質異常症の食事療法・運動療法を指導できる。

### チェックリスト《5段階評価》

#### 知識：

1. 高血糖をきたす疾患を鑑別できる。
2. 低血糖をきたす疾患を鑑別できる。
3. 脂質異常症をきたす疾患を鑑別できる。

#### 技能：

1. 血糖の測定ができる。
2. インスリン皮下注射（自己注射）ができ、患者に指導ができる。
3. 自律神経障害の有無の判定ができる。
4. 高血糖緊急症，低血糖症の診断・治療が適切にできる。
5. インスリン治療の必要な患者を選択でき，適切な投与量を決定できる。
6. インターネットを使用し文献検索ができる。
7. 症例提示と討論ができる。

#### 詳しい検査をオーダーする能力：

1. 空腹時血糖，食後血糖，IRI
2. グリコヘモグロビン，グリコアルブミン
3. 微量アルブミン尿，腎機能のチェック
4. 血中，尿中ケトン体
5. 抗 GAD 抗体，血中・尿中 CPR

### 【方略】研修方法

1. 主に入院患者を数名担当し，上級医，指導医とともに診療に当たる。
2. 上級医の指導の下に外来患者の診療に参加する。
3. 総回診前カンファランスあるいはケース・カンファランスで症例提示を行う。
4. 病棟看護スタッフに担当患者の診断及び治療方針について説明する。
5. 糖尿病教室で患者教育を学ぶ。
6. 担当した患者に関する文献をインターネットで検索し，科学的に吟味してカンファランスで紹介し討論する。
7. 他科よりの依頼に適切に答える治療方針を学ぶ。

### 指導医

脇裕典，藤田浩樹，森井 幸，佐藤雄大，加藤俊祐，楠見僚太，岩村庄吾

糖尿病・内分泌内科ホームページ：

<http://www.med.akita-u.ac.jp/~rounen/>

糖尿病・内分泌内科についてのご質問は、

加藤俊祐

e-mail：katoshun@gipc.akita-u.ac.jp

TEL：018-884-6769，FAX：018-884-6449

#### 週間スケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診
9:00	病棟，新患外来	病棟，新患外来	頸部超音波検査 内分泌負荷試験	病棟，新患外来	病棟，新患外来
12:00	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00	病棟，新患外来	病棟，新患外来	病棟スタッフ カンファレンス	病棟，新患外来	病棟，新患外来
14:00			外来カンファレンス		
15:00			病棟カンファレンス 総回診		
16:00	病棟回診	病棟回診	医局会，抄読会	病棟回診	病棟回診